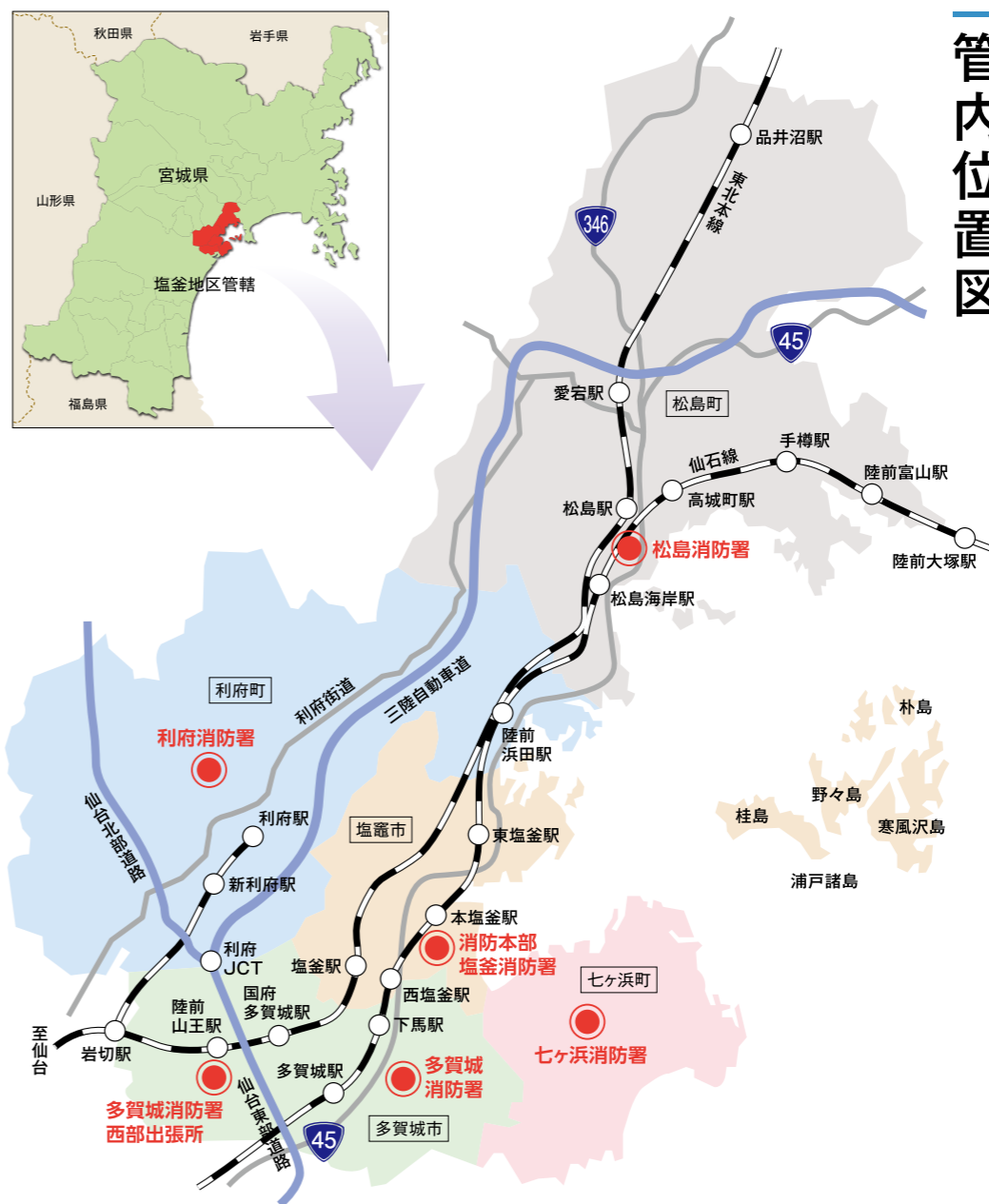


塩釜地区消防事務組合は、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町の二市三町で構成されています。管内面積は148・70km<sup>2</sup>で、職員定数は232名、1消防本部・5消防署・1出張所・事務局(2課)で構成された一部事務組合です。

管内の特色は、中世の時代から宗教・政治・交通・廻船の要所として栄えてきた歴史があり、現在は観光・水産都市として賑わう沿岸部、浦戸諸島という4つの有人島と複数の無人島を含めた島しょ地域、職住近接型のニュータウンに加えて、東北の各都市へのエネルギーを供給する役割を持つ石油コンビナート区域も有しており、東北地方の要ともいえる地域です。

管内位置図



塩釜地区  
消防事務組合  
組織図



組合の  
共同処理する  
事務

- 1 消防組織法及び消防法に基づく消防に関する事務。ただし、消防団に関する事務を除く。
- 2 介護保険法に基づく介護認定審査会の設置及び運営、面接調査についての電算処理並びに主治医等の意見聴取に関する事務。
- 3 宮城県知事の権限に属する液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務のうち関係市町において処理することとされた事務。
- 4 宮城県知事の権限に属する火薬類取締法に基づく事務のうち関係市町において処理することとされた事務。
- 5 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく市町村審査会の設置及び運営に関する事務。
- 6 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づくし尿処理施設の設置及び管理運営に関する事務。
- 7 墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬場の設置及び管理運営に関する事務。



利府消防署

〒981-0112 利府町利府字堀切前11番1号

- ◆面積/44.89km<sup>2</sup> 緑地に囲まれた利府町は、仙台都市圏のベッドタウンとしてニュータウンの宅地整備が進み、人口が増加傾向にある。また、東京ドーム約31倍の面積を持つ宮城県総合運動公園(グランディ21)があり、東日本大震災の時は臨時のヘリポートとして、全国の緊急消防援助隊、さらには世界各国から来た援助隊の野営地として、受け入れを行った。このような経験を踏まえ、利府消防署には大災害時に活用する支援車を配置している。
- ◆世帯数/13,310世帯
- ◆人口/36,054人
- ◆職員数/33名
- ◆竣工/昭和63年3月29日



七ヶ浜消防署

〒985-0821 七ヶ浜町汐見台七丁目5番322号

- ◆面積/13.19km<sup>2</sup> 水産資源に恵まれ、近海漁業、浅海沿岸養殖漁業の基地である七ヶ浜町は、東日本大震災で甚大な被害(最大津波高12メートル)を受けた。石油コンビナート区域を抱えているため、七ヶ浜消防署には軽化学車を配置している。
- ◆世帯数/6,692世帯
- ◆人口/18,765人
- ◆職員数/24名
- ◆竣工/昭和53年3月25日



多賀城消防署

〒985-0841 多賀城市鶴ヶ谷一丁目10番1号

- ◆面積/19.69km<sup>2</sup> かつて、陸奥の国府が置かれた多賀城市は、管内最古の歴史を持ち、文化をはぐくむ史跡のまちとして、また仙台湾臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っている。また、多賀城消防署には管内唯一の特別救助隊が運用する救助工作車を配置し、主要幹線道路及び高速道路を利用し管内全てに出動している。
- ◆世帯数/26,879世帯
- ◆人口/62,241人
- ◆職員数/36名
- ◆竣工/昭和46年1月16日

消防本部・事務局・消防署所の概要  
(令和2年3月末現在)



組合倉庫

〒985-0011 塩竈市貞山通2丁目1番1号

- ◆竣工/昭和59年3月に廃止した、旧一本松平成26年11月28日 出張所跡地に建設された資機材倉庫。

環境施設の概要

塩竈斎場(火葬場)



〒985-0043 塩竈市袖野田町25番1号

- 供用開始:平成6年3月
  - 火葬炉設備:人体炉6基、胞衣炉1基、再燃焼炉6基、電機集塵機3基
- 人生の終えんの場にふさわしい荘厳さを持ちつつも、ご利用いただくご遺族やご会葬の方々の悲しみを和らげ、静かなお別れと、故人の遺徳をしのぶにふさわしい施設である。

塩釜地区環境センター(し尿処理施設)



〒985-0087 塩竈市字伊保石2番98

- 供用開始:平成11年4月
  - 処理能力:95kl/日(生し尿77kl/日、浄化槽汚泥18kl/日)
  - 処理能力:高負荷脱窒素処理方式
- 「高負荷脱窒素処理方式」を採用し、日量95klのし尿や浄化槽汚泥の処理能力を有する施設である。



多賀城消防署 西部出張所

〒985-0852 多賀城市山王字中山王23番2号

- ◆職員数/8名
  - ◆竣工/昭和51年9月29日
- 西部出張所は多賀城市の西側に位置し、仙台市岩切地区に接しており、近隣は田園に囲まれ、穏やかな住宅街に立地している。水槽付ポンプ車と消火・通報訓練指導車を配置している。



松島消防署

〒981-0213 松島町松島字蛇ヶ崎右53番地

- ◆面積/53.56km<sup>2</sup> 日本三景・特別名勝である松島町は、その自然の優れた景観と五堂、瑞巖寺など文化遺産に恵まれ、国際観光モデル地区の指定も受けている。さらに大型高層宿泊施設の林立する観光拠点のため、松島消防署には梯子車を配置している。
- ◆世帯数/5,630世帯
- ◆人口/14,073人
- ◆職員数/24名
- ◆竣工/昭和50年3月25日



消防本部・事務局

〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号

- ◆職員数/48名
  - ◆他職員/6名
  - ◆竣工/平成23年3月29日
- 消防本部は鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市の中心部に位置している。消防本部庁舎は平成23年3月に新庁舎に建替え、平成25年には新消防指令センターを新庁舎4階に設置した。



塩釜消防署

〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号

- ◆面積/17.37km<sup>2</sup> 塩釜消防署は鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市の中心部に位置している。その他、塩竈市は特定重要港湾の指定を受ける港湾都市であり、さらに離島(浦戸諸島)があるため、塩釜消防署には消防艇を配置している。
- ◆世帯数/23,552世帯
- ◆人口/54,192人
- ◆職員数/47名
- ◆竣工/昭和46年5月31日

## 組合を構成する 二市三町の紹介

### 塩竈市

陸奥の「国府多賀城」の荷揚港として、また鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市は、商工、観光港と合わせて、特定重要港、特定第三種漁港の指定を受ける港湾・水産都市である。管内においては、行政、産業経済、交通の面で中心的役割を担っている。



龍鳳丸

### 多賀城市

8世紀前半、陸奥の国府が置かれた多賀城市は、管内最古の歴史を持ち、文化をはぐくむ史跡のまちの整備がなされている。また、仙台港の開港とともに仙台湾臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っており、更には、多賀城駅周辺地域の開発整備や八幡地区の津波復興拠点の整備が進んでいる。



多賀城跡

### 松島町

日本三景の一つ松島町は、古くから景勝地として知られ、瑞巖寺や五大堂など、多くの文化財と、観光施設、宿泊施設を有し、近年ではミシュランガイドで三つ星を獲得する観光地として評価を得ている。沿岸部では、かき養殖等の浅海漁業、北部では稲作を中心とした農業が盛んで、観光業をはじめ、農林業、漁業、商業など、様々な産業がバランス良く発達し、町の活力を支えている。



西行戻しの松公園

### 七ヶ浜町

三方を海に囲まれた七ヶ浜町は、明治時代から避暑地として多くの外国人に愛され、現在も七ヶ浜国際村を拠点に国際交流が盛んに行われている。また、菖蒲田海水浴場、松島四大観「多聞山」など豊かな自然と景観、豊富な水産資源に恵まれ、ひとと自然が調和したまちづくりが進められている。



七ヶ浜町全景

### 利府町

緑地に囲まれた利府町は、かつては農業（稲作・梨栽培）が主産業の町であったが、現在は商工業が盛んな町へと変貌を遂げている。職住近接型ニュータウン整備に伴い、多くの人が移住し、人口も増加傾向にある。また、自然を生かした県民のいこいの場、大型運動施設を中心とした生涯スポーツ振興などにも力を入れている。



夏の馬の背

## マスコットキャラクター「塩防くん」

組合のイメージアップを図るとともに、地域の皆さまにより組合に親しみを持っていただき、子どもたちにも地域の防災に興味を持ってもらうにはどうしたらよいか検討し、平成27年3月にマスコットキャラクター「塩防くん（しおぼうくん）」が誕生しました。消防の広報活動や、発信物などで活躍中です。

（制作者 七ヶ浜町在住 我妻 典夫氏）

### コンセプト

1. 火災等の災害という「難敵」に立ち向かう戦国武将をイメージしました。
2. 武将の象徴となる兜の前立ては「防災」の文字をモチーフにしました。
3. 着用する陣羽織は消防の活動服（ブルー、オレンジ）をイメージ、背面に組合徽章をあしらいました。



警防隊バージョン



塩防くん



救急バージョン



救助バージョン



消防バージョン